

「新しい前進」

会長 三品 優次



TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2916回 例会
プログラム
地区職業研修チームについて
No.2741 3月5日(木)

次週以降の予定

3月12日(木) 滝川における国際交流事業について
3月19日(木) 日本近海における状況
3月26日(木) 合唱を楽しもう

第2915回 例会報告

2015年 2月26日(木)

会長挨拶・報告



北海道新幹線の函館乗り入れより早く、北陸新幹線が来月の14日に開業いたします。当面の終着地であり、石川県で新幹線客を迎える最後の準備を進めている企業のお話をさせていただきます。その企業は、会員の皆様も一度はお耳にしたことがあると思いますが、「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で35年連続日本一に選出されている加賀屋のお話です。加賀屋の初代は、1909年加賀地区から能登半島の和倉温泉に12室の旅館を創業し、現在では232室を抱えています。ここの社員は、今新幹線の開業に備えて仕上げの研修に取り組んでいます。客室係は仕事の合間に英語・お茶・お花を学び直している、又板前さんは東京のすし名店「銀座久兵衛」に出向いて技を磨き直しているという様に、せっかく来ていただいたのにお客をがっかりさせて帰すわけにはいかないと社員が一丸となり、おもてなしに再度磨きを掛けています。加賀屋のおもてなしの定義は「相手の意を読み取り先回りして意を現実のものとして差し上げる策を持つこと」となっています。私達の地域の人々が加賀屋の心で大都市の人々や訪日外国人を呼び込めれば私達の地域は活性化し、地域振興に繋がるというヒントを発信してくれている様に思っています。

幹事報告



お詫びと訂正

先日発行の第2913回例会報告中、正しくは「一般財団法人滝川市体育協会」を「一般社団法人滝川市体育協会」と間違えてしまいました。訂正を願います。申し訳ありませんでした。

- ①. 2015~16年度版 ロータリー手帳の予約を受け付けます。希望される方は事務局までお知らせ下さい(1部 648円です)
- ②. 来週3月5日(木)は、定例理事会を開催いたします。関係者は予定に入れていただきますようお願い致します。
- ③. 4月4日(土)の赤平IMへの出欠を提出されていない方は、本日例会終了後までにご提出をお願いします。

先週のプログラム

《広報委員会担当例会》

—ゲスト卓話—



広報委員会 宮腰 尋資 委員

本日は、広報委員会の担当例会です。本来であれば岡本委員長からのご紹介となるのですが、本日のゲストと職場が一緒である事から、私から紹介をさせていただきます。

北洋銀行資産運用推進部 境 一彦様です。資金運用推進部は、お客様の投資等についてのサポート事業や当行職員のサポート等を主にした事業部であります。尚、境管理役は赤平市出身であり、滝川市の現状等も良く理解されている方でもあります。

本日の卓話で「何か質問や、投資についてやってみたい」と、考えている方がいらしたら、是非とも北洋銀行滝川支店にご相談下さい。それでは、境管理役よりよろしくお願い致します。

【経歴】

出身地：赤平市
野村証券入社
平成26年6月 北洋銀行へ出向
平成26年6月25日
北洋銀行資産運用部管理役
平成27年2月26日 現職在任中

「最近の景気動向と 投資環境等について」



北洋銀行資産運用推進部
管理役 境 一彦 様

今年の世界の経済見通しと、
投資環境についてお話いた
します。

まず、今年の世界の成長率は2014年の3.2%から2015年には3.4%に上昇する見通しです。米国では実質GDP見通しは3%を超えると予想され、欧州経済もプラス成長は維持すると見るが、デフレの瀬戸際にあるので下振れリスクを意識する必要はある。

日本については、消費増税後のマイナス成長の影響を忖出し2015年は暦年で1.5%の成長を見込む。中東や産油国以外の新興国も概ね順調な回復軌道を進む見通し。2015年の世界経済を支える役割を果たすと期待されているのが原油価格の下落です。

世界におけるマネーの拡大は続き、米国は2014年10月に量的緩和を終了し、2016年にはFRBの資産も縮小していくが、ECBが3月より量的緩和を実施すること、日本も2015年後半には更なる緩和に踏み込む可能性が高い。よって2016年まで順調にマネーの拡大は続く傾向と見ています。

中国では、2014年よりシャドウバンキングを通じた資金供給は細ってきました。金融セクターの健全化に向けた動きととらえることが出来ようが、景気に対する短期的な悪影響が懸念される状況となってきた。中国人民銀行も様々な緩和策を実行し、当局のこうした対応は、中国の景気を支える役割を果たそう。中国の潜在成長率も低下してきており、習近平政権もいたずらに高い成長率を追い求めず「新常态(ニューノーマル)」という基本観の下で2015年の成長率は6.8%に低下すると予想する。

15年はインドに加え、ASEAN諸国でも米景気の改善や原油価格の下落などの要因から実質成長率が高まると予想する。特にインドの実質経済成長率は、2014年の5.2%から2015年に6.4%に加速すると見込む。

日本について、過去2年間の日本経済はアベノミクスの実行による恩恵を享受してきた。2015年もその構図には大きな

変化はない。今後の課題ははっきりして「第3の矢」の成長戦略によって日本経済の成長力を需要、供給の両面で強化していくことが、今後の安定的な発展の鍵となる。TPPの合意締結や、労働市場改革、コーポレート・ガバナンス改革などの着実な実行を期待したい。短期的には、多くのサポート材料が日本の成長に寄与すると考えられる。消費増税の延期と過半数の企業では、ベースアップを実施することで、各目賃金の上昇に繋がるとみている。輸出の増加も、日本経済を短期的にサポートする役割を果たしそう。やっと昨年9月以降、輸出数量は増加傾向に転じた。これは、円安が進んだことで海外での製造拠点拡大の動きが一段落してきたためである。米国など海外における需要拡大が、輸出の増加に繋がりやすい環境が生まれつつある。

企業業績の回復も日本経済の短期的な成長をサポートすると見込んでいる。景気の回復や円安、原油価格の下落などにより、企業業績は今後大幅に改善すると見込まれる。日本企業は、今後これまでに以上に厳しい人手不足問題に直面すると見ているが、収益改善の後押しを受け、多くの企業が労働生産性を向上させるための投資を積極化させる可能性が高い。生産性上昇に成功すれば、日本経済は、賃金上昇や消費増加を通じた持続的な好循環を享受できるであろう。

ニ コ ニ コ B O X

境 一彦様(本日のゲスト)

卓話をさせて頂き。

宇山 昌宏会員

境様の講話を聴いて有難うございました。

会長/三品 優次
幹事/深澤 和範
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。